

ハート・オブ・ゴールド



通信

vol.13

2005年7月15日発行

発行/編集 ハート・オブ・ゴールド事務局
本部 〒701-1213 岡山市西辛川872-2
T&F 086-284-9700
メール: hearts05@hofg.org

URL : <http://www.hofg.org/>



↑ 海遊館にて 岡山市内の小学校で ↓



↑ 車椅子バスケ 後列左は付き添う故須々木さん ↓



カンボジアから二人の障害児が来日

2005年国際親善車椅子バスケットボール大会事務局よりの招待で、カンボジアからタブ君(14歳)レアセイちゃん(12歳)の2人が来日。同大会の観戦、琴浦東・芳明小学生との交流、チボリ公園・海遊館等の見学を行った。



昨年のウォーキング大会の様子

第10回 & アンコールワットウォーキング アンコールワット国際ハーフマラソン 2005

11月20日(日)「第10回 アンコールワット国際ハーフマラソン2005」をカンボジア・アンコールワットで開催します。今年は10回記念大会を迎えます。前日には、カンボジアの日本語教室の子ども達と一っしょにウォーキング大会を開催し交流を深めます。多くの皆さまのご参加とご協力をお願いいたします。

大会主旨 大会エントリー費用全額は義手義足支援と、犠牲者の社会復帰・自立を支援するとともに青少年エイズ予防支援活動に使われます。
・ツアーの旅行代金の一部をカンボジアのスポーツ振興に役立てます。
・対人地雷の製造・使用の禁止に賛同したランナー達が世界各国から集ります。
・障害者の方々へも、共に走ることを通じて、勇気と元気を与える大会です。

テーマ: 対人地雷被災者に義手・義足を!そして、エイズから青少年を守ろう!

主催: カンボジア陸上競技連盟(KAAF)、カンボジアオリンピック委員会(NOCC)

主管: カンボジア陸上競技連盟(KAAF)

運営: アンコールワット国際ハーフマラソン 組織委員会・実行委員会

運営協力: <特活>ハート・オブ・ゴールド、<特活>日本医師ジョーガーズ連盟

後援: カンボジア王国政府、在カンボジア日本大使館他多数

特別協賛: 三共株式会社 **協賛:** 就実学園 **協力:** (株)アシックス、(株)ライツ他多数

種目: 男子・女子ハーフマラソン(21.0975km)、男子・女子10km、女子5km、
ファミリー4km、ウォーキング10km、5km、

コース: アンコールワット周回特設コース (スタート 6:30)

前日開催 アンコールワット・ウォーキング (午前6:30分開会)

エントリー料金: 4000円 (手数料含む)

※日本からのエントリーについては、必ず事前に日本国内で手続きを行ってください。

お問合せ: アンコールワット国際ハーフマラソン大会実行委員会事務局まで

本部事務局: 〒701-1213 岡山市西辛川872-2

ハート・オブ・ゴールド事務局内

Tel & Fax: 086-284-9700

※詳細はホームページをご覧ください。(http://www.hofg.org/)

新役員を選出

今年度のハート・オブ・ゴールド総会が、6月22日(水)東京にて229名が参加(委任状含む)、開催されました。有森代表の挨拶の後、2004年度事業報告及び決算報告、2005年度事業計画案及び予算案が、審議承認されました。

今年度は理事改選の年で、新理事の選出が行われました。今後2年間よろしくお願いいたします。

新理事は下記のとおり。

代表 有森裕子
副代表 ローレン・モラー
理事長 萩原 隆
理事 君原 健二・高石ともや
中島 博・片山 浩子
田中 浩一(以上再任)
神津 十月・武藤 真澄
三輪 隆・志澤 公一
山口 拓(以上新任)
監事 市川 捷治

なお、香取文隆様、長谷川駿様、今回を持って退任されました。長い間本当にご苦労様でした。

参加者・指導者
ボランティアスタッフ
大募集!!

第10回マラソン大会の運営資金が不足しています。ご協力をお願いします

第5回 青少年・指導者育成スポーツ祭

＜教育 青少年スポーツ省 / 学校体育スポーツ局 認定 スポーツ大会＞

大会主旨: 国造りの過程にあり、体育科教育ならびにスポーツ普及の努力を続けている教育省・青少年スポーツ省 / 学校体育・スポーツ局および地方教育局と共に、対象地域の指導者を対象とした「コーチング・クリニック」ならびに青少年を対象とした「青少年スポーツ祭」を開催し、現地の青少年育成事業を実施すると共に、日本-カンボジア交流ならびにスポーツ活動を通じた相互理解を促進し、参加者全員でHIV/AIDS予防に関する知識と意識の共有を図る。また活動は、国内外の産官民学NGOの協働で行うものとする。

主催: カンボジア王国 教育 青少年スポーツ省 / 学校体育スポーツ省

主管: スヴァイ・リエン州 / 地方教育局

運営: YLTS 組織委員会 / 実行委員会

運営協力: <特活>ハート・オブ・ゴールド

岡山県大学スポーツ国際交流推進機構

後援: 在カンボジア日本大使館、在日本カンボジア大使館、カンボジア王国 観光省、笹川スポーツ財団、国際協力機構:JICA/ 青年海外協力隊:

JOCV、岡山県、他多数

特別協賛: 三共株式会社、

協力: 倉敷平成ライオンズ

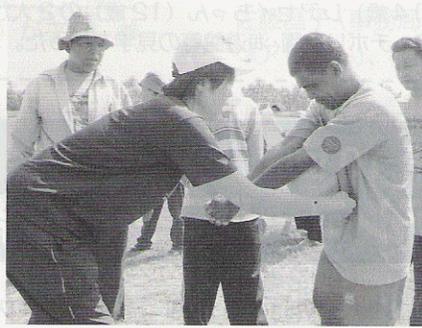
種目: サッカー、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、ペタンク、一般体操ダブルダッチ、綱引き他

同時開催: HIV/AIDS 予防教育 CHEMS・CPR (UNFPA 提携 NGO)

日時: 11月21、22日

場所: スヴァイ・リエン

州立スポーツ・スタジアム



日時	事業名	対象者	参加人数	各競技別人数
2003/12/1	コーチング・クリニック	教職員・コーチ・ボランティアリーダー	56名前後	7余名
2003/12/2	青少年スポーツ祭	小学生:8校・中学生:8校	840名前後	76名程度

ハート・オブ・ゴールド青少年大使の活動

日本からの青年は Hearts of Gold Japan Young Amb / HOGJYA (ホグジャ) と呼ばれ、カンボジアの青年は、Hearts of Gold Cambodia Young / HOGCYA (ホグチャ) と呼ばれます。

カンボジアの青年達は、主に日本語を勉強している大学生で構成されており、コミュニケーションは日本語と英語です。

活動内容は、企画から実行まで、学生達を中心に活動するものから、既存の事業のお手伝いまでいろいろな形があります。

2004年度のHOGJYA / HOGCYAの活動は、マラソン&青少年スポーツ祭の手伝い(日本10名、カンボジア9名)、自主企画、カンボジア小学校でのレクリエーション(日本7名、カンボジア7名)など。

2005年度 HOGJYA 募集中!

今年もハート・オブ・ゴールドでは、下記の日程でカンボジアの青少年と共に活動するHOGJYAを募集します。ぜひお友達を誘ってご参加下さい。

日程: 11月18日~11月27日(10日間)

活動内容: 第5回青少年・指導者育成スポーツ祭
スポーツ専門家補助(サッカー、バスケット、バレー、バドミントン、その他)(予定)、NGO活動見学、交流会など。



ハート・オブ・ゴールド

アジア地域事務所から

プロジェクト・コーディネーター
ペン・ピイメイエン

私は、ハート・オブ・ゴールドのスタッフとして、スポーツを通じたカンボジア開発支援を初め、特に、障害者・青少年・子どもの活動支援を行う、この素晴らしい機会を名誉に感じております。

またそれらの活動と共に、カンボジアの一人一人が国家開発に有益な友情、結束、寛大さ、高貴さを取り戻し、健康で平和な生活を送ることが出来るように強く信じています。

カンボジアを母国とする一個人として、私は、カンボジアの明るい未来を目指して、日頃より、温かいお心遣いのご支援を頂いている個人・法人会員の皆様、事業の表と裏で活動されているサポーター、パートナー、本部スタッフの皆様方に感謝の意を表します。

今後も支援活動を献身的に取り組み、他の開発事業の取り組む国々と共に、今日以上の明日を目指して頑張り続けたいと思います。

今後も皆様のご繁栄されます事をお祈り申し上げます。

■日本語教育事業報告

チェイ小学校「むつみ日本語教室」 檜尾 睦

4年目を迎えた教室は、2004年度10月の新学期から新しいクラスが増えました。日本語のクラス名も子ども達の要望で、一番大きいクラス「桜組」次に「桃組」新しい「藤組」と名づけられました。8時半から11時半まで休憩なしで、それぞれの組が60分みっちり学習しています。

「ふじ組」の子ども達は8歳から14歳までの27名です。ひらがな・カタカナが書けたり、読めたり出来るようになり、毎日習う教材テキストの文も読めるようになってきたので、面白くなってきたようで、始業前に中庭で今日学習する文型練習を自主的に練習している声が良く聞こえます。

桜組と桃組の子ども達は毎日8時半から日本語教室に来て、ふじ組の授業のアシスタントをしてれています。とてもよく面倒を見てくれるので、ふじ組の子ども達は桜組・桃組の先輩達を慕っており、いい雰囲気です。

桃組の子ども達は1冊目の教材は終わり、毎日学習している教材テキストのかなり長い文章でも、一日で覚えて来られるようになりました。日本語学習4年目を迎えている桜組の子ども達は今、2冊目の教材の最終課「つるのおんがえし」を全文覚えています。

交流している日本の友達との手紙のやり取りも桜組の子ども達は日本語でしっかり書けるようになってきています。そして、自分なりに将来の夢もしっかりと持って日本語学習に取り組んでいます。

また、日本の小学校や中学校との国際交流も4年目を迎え、子ども達同士の交流が定着してきています。日本から日本語教室のニーズをしっかりと聞いた上で、手作り日本語教材を支援してくれたり、日本の今昔の遊びを紹介して、たくさん送って来てくれました。小学校の友達が時間をかけて、工夫して作ってくれた日本語教材や日本の今昔の遊びは日本語教室にとってはとてもありがたく、大切に使っています。また、文通も3年目をむかえかなり深まっています。今年はその小学校から先生方4人がチェイ小日本語教室を実際に訪問して下さり、子ども達と熱い交流をして帰られ、学校でその報告会して下さいました。これらの支援は両国の子ども同士の国際交流であり、年々、日本の交流している学校の子どもの間にも、チェイ小日本語教室の子ども達にとっても、お互いを思いやったりもうれしい交流となっています。

その他、色々な学校やたくさんの方々から文房具等の支援物資をいただいています。そのお陰で、子ども達は安心して毎日日本語学習に取り組んでいます。有難うございました。



千里国際チャリティラン (写真ボランティア「フォトします会」から)

■ハート・ペアレント事業

現地協力団体代表 松本 清嗣

昨年同様子ども達は、シュムリアップとバツタンバンセンターに分かれて暮しております。また4名は僧院にて修業中ですが、それぞれの生活は落ち着いていて、身の回りの清掃、農業実習等々自分たちで決めた日課を毎日こなしています。

バツタンバンではセンター付属の農園やチャイルド・ケアセンター所有の稲作田での農作業で、お米の収穫は2,478kgでした。(渇水の影響により収穫減) また、子ども達の養豚は順調で、16頭の子豚を出荷し利益も上げています。

シュムリアップセンター内での農作業では日々の食料等以外の一部を市場で販売しました。昨年同様、子ども達は学校、農場、センターでの共同作業において適切な役割を分担して協力しています。

思春期に達した男女に対しては、男女が対等で最も重要なパートナーであることの理解を促すための施設と教育が必要であり、そのアドバイザーとして2005年1月にサモン氏(29歳)を新規雇用しました。現在彼がシュムリアップ新センターの候補地の選定、建設プランの作成にあっています。また、子ども達の自立を促す将来の職業訓練への準備作業も進んでいます。今年から新しい施設建設に向け進めていきたいと思っております。

里親の皆様の温かいご支援のもと、子ども達は健康で元気に過ごしており、それぞれに必要な教育の機会を得ております。今後とも引き続き見守っていただけますようお願いいたします。

●「こまちハート・オブ・ゴールド」スポーツクラブ発足

長い間HOGの活動に協力されていた雄勝町が町村合併に伴い、おがち総合型地域スポーツ・レクリエーション・カルチャークラブ「こまちハート・オブ・ゴールド」として、今後一緒に、カンボジアの地雷被災者の支援を続けていられることになりました。

●東日本支部便り (志澤 公一)

- 11月21日 戸田マラソン (会場内ブース)
- 11月28日 河口湖マラソン (会場内ブース)
- 11月30日～12月6日 カンボジア
- 1月31日 有森代表フォーラム (東京時事通信ホール)
- 4月17日～4月18日 かすみがうらマラソン (会場内ブース)

●飯田クラブ

飯田クラブ1周年記念事業として、酒井代表から有森代表へ寄附が贈呈されました。

飯田高校で有森講演会が開かれました。



●西日本支部便り (武藤 勝行)

- 1月23日 高槻シティ。カンボジア支援グッズ販売活動。
- 2月15日～22日 カンボジア子ども大使来日。
- 2005年国際親善車椅子バスケットボール大阪大会(日本・カナダ・韓国・オーストラリア)にハート・オブ・ゴールドが共催して、カンボジア子ども大使2名と通訳1名を招聘に協力。日本の小、中学生生徒と交流、障害者センターにて各種スポーツの体験、岡山での交流などを行い、帰国の途につきました。
- 3月6日 篠山ABCマラソン。カンボジア支援グッズ販売活動。
- 3月20日 千里国際チャリティラン

ハート・オブ・ゴールド主催、カンボジア支援チャリティラン。今大会は多くの会員と係わりのある団体(三共労働組合青年部・フォトする会・大阪教育大付属天王寺中学校・在阪ドラゴンポートチーム・吹田中ノ島ランナーズ)の皆さんのボランティア活動の場になっています。給水、沿道警備、走路員、チップ回収、閉会式後の会場内ゴミ拾い、便所掃除にと多くの皆さんのマンパワーに助けられ無事終えることができました。来年の大会もよろしく。